

「新人目線」の用語解説

語句よみ

第170号



今回のテーマ 急速に発展する中国の経済特別区・深セン

年6%を超える経済成長を続ける中国。その経済のけん引役として、北京や上海などの主要都市と並んで、深センがその存在感を急速に高めています。今回は、深センの経済と深セン証券取引所について調べてみました。

日興アセットマネジメントの新人。お客様に有益な情報をお伝えべく、投信や経済について勉強中。

1. 深セン

深センは中国南部、広東省を流れる珠江の河口にある珠江デルタと呼ばれる三角地帯に位置します。珠江デルタは世界有数の製造業の集積地域で、深センはその地域の中心的な都市となっています。香港からは、電車でわずか1時間程度のところにあり、その他、バスやフェリーなどでも容易に行き来することが出来ます。そのため、経済だけでなく、文化や流行など、様々な面で香港の影響を大きく受けています。

中国製造業の急成長を牽引する深センですが、1970年代は人口3万人程度の小さな漁村でした。しかし、1980年に鄧小平氏が主導した改革・開放政策によって、深センが経済特別区に指定されました。これに伴ない、パソコンや家電の組立などを行なうEMS（電子機器受託製造サービス）を手掛ける香港や台湾などの企業の進出が加速したことなどから、急速に経済の高度化が進みました。また、1997年7月に、香港が中国へ返還されたことを受け、深センは世界と中国本土とのゲートウェイとなる香港に隣接する強みと経済特別区に与えられた優遇策をアピールし、莫大な外国投資の誘致に成功しました。そして、多くの海外企業が深センに工場を移し、製造業の発展が加速しました。



ステップアップ

経済特別区とは、外資企業に対する税制優遇措置など、政策的に特別な決まりが設けられた地域のことで、中国では、深センのほか、珠海(シュカイ)、汕頭(スワトウ)、廈門(アモイ)、海南(カインアン)の5都市が経済特別区として指定されています。



(次のページへ続きます)

口当資料は、日興アセットマネジメントが経済一般・関連用語についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。口投資信託は、価値のある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

2000年代までは、海外から原材料を調達し、安い労働力を武器に、加工した製品を海外へ輸出する「世界の工場」としての位置づけが強かった深センですが、人件費の高騰や、環境汚染の深刻化などを背景に、2010年以降には、金融や物流などのサービス業やハイテク産業を誘致するなど、産業構造の転換を図る動きが加速しました。

現在では、深センを中心とした地域に、多様な産業の部品の生産から組立まで、サプライチェーンのほとんどの工程をこなすことのできる環境が整っています。また、香港を通じて世界市場へのアクセスが容易なことから、世界的な物流の中心地のひとつとなっています。深センの域内総生産の成長率(2016年)は9%と高く、中国経済をけん引する存在となっています。

2. 深セン証券取引所

1990年に開設された深セン証券取引所は、国営企業などオールドエコノミーの企業が多く上場する上海証券取引所と異なり、ITやヘルスケア関連企業など、ニューエコノミーの民間企業が多く上場しているのが特徴となっています。また、深セン証券取引所には中小企業向け市場「中小企業板」や新興企業向け市場「創業板」などもあり、成長期待の高い銘柄が上場していることも魅力となっています。

昨年12月5日に、深センと香港の両証券取引所間の株式相互取引制度「深港通(しんこうつう、ストック・コネクト)」がスタートしました。これにより、中国本土の投資家以外の投資家も、香港を経由して、深セン上場のA株(人民元建て)銘柄へ投資できるようになりました。また、中国本土の投資家は、深セン証券取引所経由で香港株への投資が可能になりました。

足元の「深港通」の売買高は、ノースバウンド(香港を経由した中国本土市場への流れ)において、上海・香港証券取引所間で先行して始まった株式相互取引「滬港通(こうこうつう)」に近い水準まで増加しています。

深セン証券取引所上場株の株価は、PER(株価収益率)から見て割高な水準にあるとの評価もあり、「深港通」が中国本土の株式市場に与える影響は限定的との見方もあります。しかし、成長期待の高い銘柄が数多く上場している深セン証券取引所の開放は、国内外の投資家に、より多くの選択肢を与えるとともに、中国資本市場の自由化を加速する重要な政策の一環として期待されています。

「深港通」の開始をきっかけとして、さらなる資本市場の開放も期待されています。中国経済の成長と、それに伴う深セン証券取引所の発展から、今後も目が離せませんね。

ステップアップ

「深港通」に先行して、2014年11月にスタートした「滬港通」は、当初は、利用率が低調に推移していたものの、徐々に、香港株式市場における「滬港通」を利用したチャイナマネーの存在感が高まりつつあります。



facebook twitter で、経済、投資の最新情報をお届けしています。

口当資料は、日興アセットマネジメントが経済一般・関連用語についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。口投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。